

平成21年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	岡山県における専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン		
法人名	社団法人岡山県専修学校各種学校振興会		
学校名			
代表者	会長 平田 眞一	担当者 連絡先	中国デザイン専門学校 近藤 里美 TEL 086-225-0791
1. 事業の概要等			
<p>本事業では、岡山県の高校生の職業教育を推進するため、岡山県専修学校各種学校振興会が中心となり、会員校の専門学校11校が協同してそれぞれの学校の特徴を活かし、職業教育として高校生に将来の職業に就くための意識と自覚を持たせる講座を行った。</p> <p>講座の具体的内容は実施可能な職業教育のプログラムを提示し、高等学校教員との懇談により、職業教育の内容を高校生に把握してもらいやすい体験講座を設定し、高校生が参加しやすくするため、夏期休暇中を中心に1講座は2～5日とし、1日あたりの授業時間も2～8時間とした。（詳細は下記2.の①職業体験講座の実施欄参照）</p> <p>講座内容はまとめて募集要項とポスターを作成印刷し、岡山県内の高等学校に配付し、同時に特色教育に力を入れている高等学校数校に直接説明するため訪問し、高校生の参加を依頼した。</p> <p>実施講座数 : 37講座（昨年度24講座） 参加専修学校数 : 11校（昨年度8講座） 受講者数 : 694人（昨年度372人 322人増） 高等学校との単位互換講座（5日間35時間） : 4講座（昨年度2講座）</p>			
2. 事業の実施に関する項目			
①職業体験講座の実施			

カリキュラム・体験講座名	期日	実施(受入)学校名	受講者数	日数(時間数)	その他
自動車メカニックの仕事を学ぶ	8月25日・26日	専門学校岡山自動車大学校	2	2日(10時間)	
リハビリテーションを学ぼう!	6月20日・ 7月25日	岡山医療技術専門学校	29	2日(10時間)	
スポーツと脳科学のリハビリ	8月1日・29日	岡山医療技術専門学校	46	2日(10時間)	
リハビリ体験	10月2日～8日	岡山医療技術専門学校	3	5日(35時間)	単位認定講座
プラスチックのメガネ手作り	8月5日・6日	専門学校ワールドオブティカルカレッジ	5	2日(10時間)	
歯科衛生の仕事体験	8月7日・8日	インターナショナル岡山歯科衛生専門学校	26	2日(10時間)	
歯科技工士の仕事を学ぼう	8月10日・11日	岡山歯科技工専門学校	20	2日(12時間)	
料理とお菓子を作ろう	7月24日・25日	西日本調理製菓専門学校	86	2日(8時間)	
料理とお菓子を作ろう	7月29日・30日	西日本調理製菓専門学校	50	2日(8時間)	
料理とお菓子を作ろう	8月7日・8日	西日本調理製菓専門学校	55	2日(8時間)	
料理とお菓子を作ろう	8月28日・29日	西日本調理製菓専門学校	90	2日(8時間)	
料理とお菓子を作ろう	10月5日～9日	西日本調理製菓専門学校	2	5日(35時間)	単位認定講座
ビューティ業界のお仕事体験	8月4日～6日	専門学校岡山ビューティモード	10	3日(9時間)	
ヘアスタイリストのお仕事体験	8月4日～6日	専門学校岡山ビューティモード	30	3日(9時間)	
パティシエ体験	8月4日～6日	専門学校岡山ビジネスカレッジ	20	3日(9時間)	
トリマーのお仕事体験	8月4日～6日	専門学校岡山ビジネスカレッジ	20	3日(9時間)	
CG デザイン講座	8月4日～6日	専門学校岡山ビジネスカレッジ	3	3日(9時間)	
仕事に役立つパソコン操作講座	8月4日～6日	専門学校岡山ビジネスカレッジ	2	3日(9時間)	
医療秘書について学ぼう	8月4日～6日	専門学校岡山ビジネスカレッジ	15	3日(9時間)	
ブライダルプロデューサーのお仕事体験	8月4日～6日	専門学校岡山ビジネスカレッジ	15	3日(9時間)	
ファッションコーディネート体験	8月4日～6日	専門学校岡山ビジネスカレッジ	19	3日(9時間)	
ファッションデザイナーのお仕事体験	8月4日～6日	専門学校岡山ビジネスカレッジ	15	3日(9時間)	
トップクリエイターの漫画家体験	8月20日・21日	専門学校岡山情報ビジネス学院	17	2日(8時間)	
エアライン業界の仕事	7月30日・31日	専門学校ビーマックス	2	2日(10時間)	
ファンタジーキャラクター創作	8月3日・4日	専門学校ビーマックス	16	2日(12時間)	
3G キャラクターを動かそう	9月5日・6日	専門学校ビーマックス	2	2日(12時間)	
医療秘書に挑戦	10月3日・4日	専門学校ビーマックス	2	2日(12時間)	
ファッション業界のお仕事体験	7月29日・8月6日・11日	中国デザイン専門学校	4	3日(15時間)	
デニムジーンズのお仕事体験	7月29日・8月6日・11日	中国デザイン専門学校	5	3日(15時間)	
ビジュアルデザインのお仕事体験	7月29日・8月6日・11日	中国デザイン専門学校	5	3日(15時間)	
イラストレーターのお仕事体験	7月29日・8月6日・11日	中国デザイン専門学校	8	3日(15時間)	
アニメ・マンガ業界のお仕事体験	7月29日・8月6日・11日	中国デザイン専門学校	9	3日(15時間)	
モノ・デザインのお仕事体験	7月29日・8月6日・11日	中国デザイン専門学校	18	3日(15時間)	
建築デザインのお仕事体験	7月29日・8月6日・11日	中国デザイン専門学校	5	3日(15時間)	
デザイン職業体験	8月7日・11日・ 17日～19日	中国デザイン専門学校	8	5日(35時間)	単位認定講座
プロから学ぶ空間デザイン体験	10月10日・11日	中国デザイン専門学校	16	2日(13時間)	
デザイン職業体験	9月25日～27日/ 10月10日・11日	中国デザイン専門学校	14	5日(35時間)	単位認定講座

②その他

昨年度から実施している高等学校との単位互換講座を今年度も引き続き開催し、5日間35時間、4講座を実施した。また、単位認定とは関係なく、職業意識を高めるための参加という形での学校単位での申し込みがあったことは、3回目の実施となる今年度の成果といえると思われる。さまざまな専門学校の専門性を活かした講座を準備したことにより、生徒一人ひとりの興味に合った講座への参加が可能となり、個人の申し込みだけではなく、高校側から取りまとめて申し込みいただけたことは、この事業への理解が得られたことといえると考えられる。

3. 事業の成果・評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況・評価について

受講者へのアンケートにより、受講者がこれらの職業について身近に感じられるようになったことが明確になった。満足度調査結果においては、大変満足 73.8%、やや満足 20.5%という結果が 90%以上を占めていて、この講座へ参加して良かったという受講者の声を得ることができた。受講者にとって座学中心の講座よりは実習中心の講座の方が興味を引いたように思われる。また職業意識についても、これまであまり関心が無かった高校生が講座を受講して職業意識が高まったということが読み取れ、これらのことより本事業の成果と言えると考えられる。

また、2月24日に開催した第2回実施委員会において、実施した専門学校の担当者と単位認定した高等学校の教員、教育委員会生涯学習課の担当者との意見交換の中で、職業教育の必要性について、もっと県や市でも取り組むべきものではないかとの声があった。このような取り組みにおいて専門学校や大学等の高等教育機関への期待は高まってきているようであり、まさにこの事業がその役割を担っていると考えられるのである。

②次年度以降における課題・展開

今年度は全体の参加者数も増えたおかげで、参加者が不足のため開講できない講座は1件にとどまった。参加人数は最低が2名であるが、多くの講座で参加者を集めることができ、それぞれのアンケート結果には満足の回答が多く見られた。

今回の講座は2～3日開催の講座が多く、全日程に参加できない高校生もいたけれども、大半は日程をこなすことができたようである。高校生にとって職業意識には具体性が欠けるものが多く、実際に体験してみようやく職業の実態が理解できるようであり、現代社会の複雑な側面を垣間見ることとなった。特に医療系の分野では、リハビリテーション、歯科衛生、歯科技工などさまざまな学校が行ってみたが、参加前は医療では、医師と看護師ぐらいの違いしか分からず、医療分野が分業されていることに驚いていたようである。他の分野でも、実際に体験実習を行ってみてその分野の職業の内容がようやく理解できる程度である。高等学校までの職業教育の内面にもっと具体的な職業紹介を行う必要があると痛感した。

今回の事業を行った結果、職業を体験してその内容を理解していただくことは、現在の高等学校までの教育内容に含まれていないことから、多様化した職業の内容に理解を含めていただくことが、今後の職業教育に必要なものであると感じた。

